

湛水土中(カルパー)直播栽培特報 第4号

～ J A 富山市米品質向上生産運動展開中～

令和3年7月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

本年の幼穂形成期は、近年より1日遅い7月17日頃(4/30播種)となっています。

今後、平年並みの気温で推移すると、出穂期は、8月8日頃と見込まれます。登熟期間の稲体活力維持のため、生育ステージにあわせた水管理の徹底と、生育状況に応じた追肥対応に努めましょう。

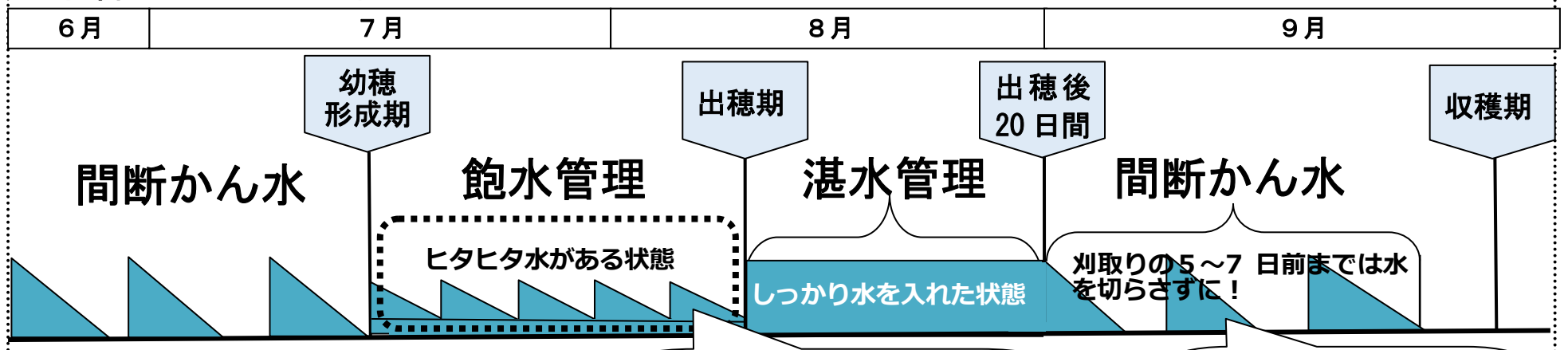
表 直播コシヒカリ(カルパー)の生育状況(7月13日現在) ※近年値はH28～R2

	播種日	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齢	群落葉色	幼穂形成期	出穂期
R3年	4/30	71.9	569	11.7	4.1	(7/17)	(8/8)
近年値	5/2	76.6	540	11.3	4.0	7/16	8/6

水管理

- 直播は根域が浅く乾燥に弱いため、出穂までは水不足にならないよう「飽水管理」(足跡に水が残る程度の状態になったら入水して、土が水分不足にならないような管理)を行いましょう。
- 出穂後20日間は湛水状態を保ち、その後は刈取りの5～7日前まで間断かん水を続けましょう。

<水管理のイメージ図>



出穂前の葉色確認・追加穂肥

- 必ず出穂7～10日前頃に葉色の確認を行い、葉色4.0(砂壤土では4.2)を下回る場合は、出穂3日前(走り穂が出る頃)までに追肥3号で7kg/10aを施用し、穂揃期の葉色を4.2～4.5(砂壤土は4.5)へ誘導しましょう。

葉色が濃い場合は、この時期も「間断かん水」を続けましょ

フェーン現象が予想される場合はあらかじめ湛水!

病虫害防除

- 品質向上のため、斑点米の原因となるカメムシ類等の防除を徹底ましょう。



今年もカメムシ類が多発しています

防除時期		対象病虫害	農薬名	10a当たり散布量
生育ステージ	時期の目安			
穂揃期	8/11～8/13	いもち病 ウンカ類、カメムシ類	ラブサイドキラップ 粉剤DL	4kg
傾穂期	8/18～8/20	ウンカ類、カメムシ類	スタークル粉剤DL	3kg



図 主な斑点米カメムシ類
左: アカヒゲホリミドリカスミカメ(6mm)
右: アカシガカスミカメ(5～7mm)

※液剤、微粒剤体系も穂揃期と傾穂期の時期に防除してください。

※カメムシ類に対する防除効果を高めるため、散布間隔は7日間を目安とし10日以上あけないよう、計画的に実施してください。

- ・農薬の散布は、使用基準を必ず守り、風速・風向きに注意し、周辺への飛散防止に努めましょう

令和3年度 富山県農薬危害防止運動(6/15～9/14) ～農薬は周りに配慮し正しく使用～

熱中症対策 ～適度な休憩を取り、あわせて休憩時には必ず水分を補給ましょう～